

文化庁
「アーティスト・イン・レジデンス（AIR）活動支援を通じた国際文化交流促進事業」
評価交流会の開催について

- 日 時 令和元年10月10日（木）13:00～（17:00 終了予定）
- 場 所 京都経済センター 3階H会議室（京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78）
※地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」26番出口直結 (<https://kyoto-kc.jp/>)
- 目 的 国内のAIR実施団体の横のつながりを深め、それぞれが抱える課題の共有と、AIRの具体的な成果・評価についての議論によって、今後のAIR発展の可能性について考える。
- 対 象 文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」に採択実績があるAIR実施団体、その他のAIR実施団体、AIR関係者など
- 出席者 モデレーター : 日沼 禎子（女子美術大学教授）
（予定） ファシリテーター：稲田 奈緒美（桜美林大学准教授）
大澤 寅雄（株ニッセイ基礎研究所主任研究員）
近藤 由紀（トーキョーアーツアンドスペース事業課長）
杉浦 幹男（アーツカウンシル新潟プログラムディレクター）
田口 幹也（城崎国際アートセンター館長）
朝倉 由希（文化庁地域文化創生本部研究官）
- 共 催 京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市、京都府

○開催内容（13:00～17:00 予定）

1. 文化庁による補助事業説明等
2. 平成30年度AIR調査結果報告 [※1]
3. 文化芸術事業の評価に関する情報提供 [※2]
4. グループワーク（ピア・レビュー） [※3]
5. 参加者全員での情報交換会・文化庁への個別相談会（★自由参加） [※4]

[※1] 文化庁と女子美術大学との共同研究事業におけるAIR調査結果概要報告 [女子美術大学教授 日沼禎子]

[※2] 文化芸術事業と評価をめぐる課題についての情報提供 [文化庁研究官 朝倉由希]

[※3] 参加者を複数のグループに分け、各グループのファシリテーターによる進行のもと、2～3のテーマに基づき「AIRの成果・評価」に関する議論を行う、ピア・レビューの手法を用いたワークショップ。グループごとに議論した内容の発表と全体の総括も行います。（グループワークの参加者は、AIR実施団体またはAIR関係者の方に限定します。）

[※4] 参加者全員と文化庁職員、モデレーター、ファシリテーターが自由に交流・意見交換できる場。あわせて各団体の皆さまから文化庁への意見や要望をお聞きするための個別相談会を実施します。

○参加申込方法

別紙の「申込書・参加者事前アンケート」に必要事項を御記入の上、**9月24日（火）**までに、下記宛先までメールでお送りください。締切後に申込者全員へ参加可否の御連絡をいたします。なお、参加希望者多数の場合、御参加いただけない場合もありますのであらかじめ御了承ください。

《申込・問合せ先》

文化庁 地域文化創生本部

暮らしの文化・アートグループ（担当：藤川，井上）

電話 075-330-6733 メール kurashi@mext.go.jp